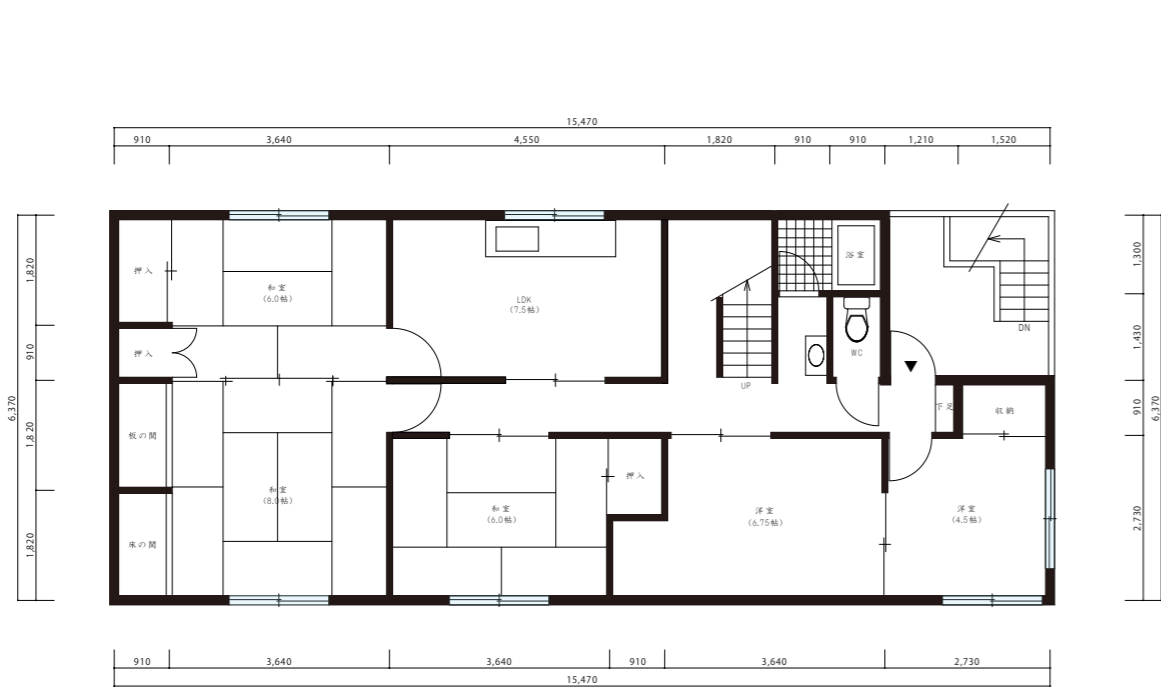


隠し部屋のある家

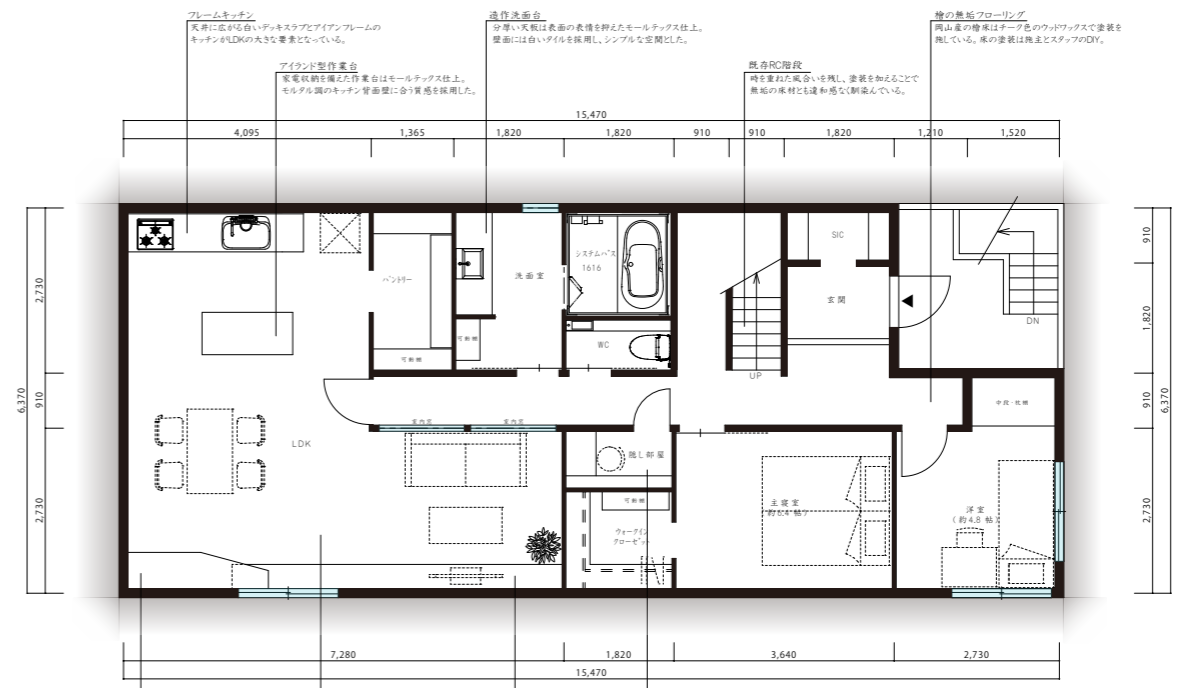


大阪府東大阪市に建つ鉄骨造の工場兼住居のリノベーション計画である。1階は駐車場と将来の職場として残し2、3階を全面的に改修することになった。施主のライフスタイルを聴き取り、既存の住居部分の全ての部屋を設計するにあたり、鉄骨造の特徴を生かして広く開かれたLDKを設けることにした。時を重ねた要素を隠さず、デザインの一部として取り入れ、LDKは天井のデッキスラブに塗装を施し露出させている。リビングとダイニングの間に設けられた飼犬用スペースやご主人の仕事用デスク、奥様の趣味の部屋であるミラー裏の隠し部屋。また、3階へ上がるRC階段はそのまま残したが、上手く無垢材の床が続く廊下と馴染んでいる。既存の環境全体に手を加えたわけではないけれど、既存建物が持つ個性を大切に、残す部分と新たに創出する部分とをバランスよく配置することで、住み手の生活にマッチした新築では決して手に入らない空間となったと感じている。

用途：住宅（リノベーション）
 場所：大阪府東大阪市
 築年数：47年
 面積：約30坪



BEFORE



AFTER